

演題名	牛白血病清浄化への取組み		
発表者 氏名	神戸 三希	所属	飯田家畜保健衛生所
<p>平成 19 年 4 月に管内大規模農場（以下 A 農場）の関連農場が飼養する黒毛和種繁殖牛 1 頭で牛白血病が確認された。A 農場の牛白血病抗体保有状況を調査したところ、293 頭中 67 頭（23%）が陽性。A 農場では関連農場及び県関係者と協議の上、対策として抗体陽性牛（陽性牛）の隔離飼育等を実施。預託の受け入れや導入については、抗体陰性が確認されたもののみとした。抗体陰性牛については年 2 回の抗体検査を実施。なお、抗体陽性牛の早期淘汰が困難なため、まん延防止に重点を置いた。平成 21 年度に対策を再検討し、抗体検査を年 3 回とした。平成 21 年 10 月に実施した定期検査では、新たな陽性牛は確認されなかった。牛白血病については発生規模に応じた対策が必要であり、経営維持のためにはまん延防止に重点を置くことも重要。</p>			